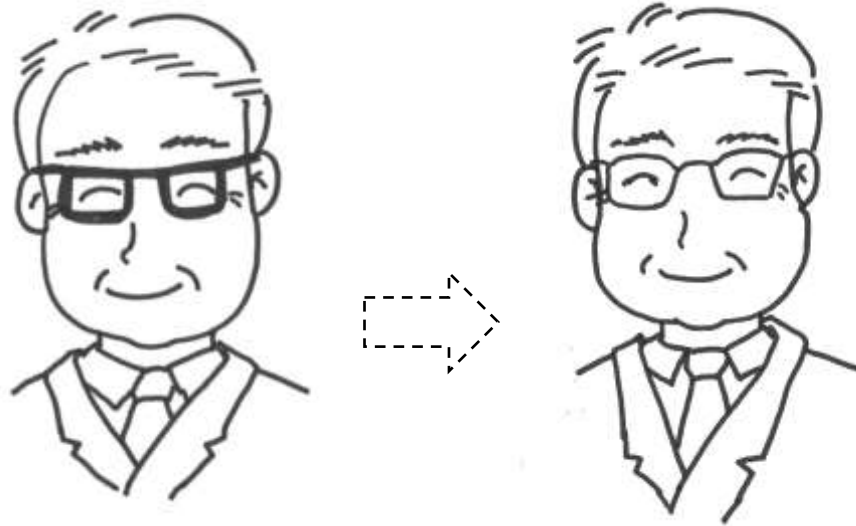


花ちゃん、オー君、モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく4

国立市立国立第七小学校

平成28年4月6日 NO.1 (301)



モンタ博士「国立第七小学校のみなさん！モンタ博士です。今年もよろしくお願
い
しまーす。」

オー君 「あれあれ？メガネが代わってる。」

花ちゃん 「あたらしいメガネもとてもステキですね。モンタ博士。」

モンタ博士「いやー。そう言ってもらうと、超うれしいね。」

オー君 「モンタ博士！何だかとっても楽しそうですね。」

モンタ博士「それはそうだよ。モンタ星から『地球とはさよならして、すぐにモンタ星に
もどって来なさい！』と、連絡があるのではと、ドキドキしていたんだ。」

花ちゃん 「それはよかったですね。モンタ博士！また一緒にあちこちてくてくですね。」

モンタ博士「そうだね。それではいまから校庭のあちこちをてくてくしよう。」

というわけで、春風いっぱいの国立七小の校庭をてくてくしたとさ・・・。

花ちゃん 「ナノハナがっばいで、うれしいですね。」

オー君 「サクラソウも花壇にっばいさいいていて、うきうきですね。」

花ちゃん 「チューリップもシャガも、咲きだして、花っばいの学校になりましたね。」

オー君 「あたたかくなったので、池の魚も元気に泳ぎ始めています。」

花ちゃん 「テントウムシやモンシロチョウも見られ、生き物いっぱいの学校ですね。」

モンタ博士「そのとおりだね。ところで、みんなは、校庭に咲いているいろいろな花を見て、
どんなことを感じたかな。」

オー君 「ぼくは、花を見ていると、嬉しい気分になります。」

花ちゃん 「わたしは、とても優しい気持ちになれます。」

モンタ博士「そのとおりだね。それから、モンタ博士が思うにはね、あれこれといろいろな花があることがとても素晴らしい事だと思うんだ。」

花ちゃん 「そうですね。1つの種類だけでは、きれいでも何だかつまらないですね。」

オー君 「そうだね。『みんなちがってみんないい』んだね。」

花ちゃん 「あれ、『みんなちがってみんないい』って、金子みすずさんの詩にあるわ。」

モンタ博士「そうだ。みんなは、一人一人みんなちがってみんないいんだよ。みんなには素晴らしい個性があるんだ。自分のステキな部分をもっともっと輝かせていこう。
人にはまねできない、自分らしさをたくさん発見し大切にしていこう。
さあ、明るさいっぱいの4月の始まり。心新たにみんなですべてスタートしよう。」

わたしと小鳥とすずと
金子みすず
わたしが両手をひろげても
お空はちつてもとべないが
とべる小鳥は
わたしのよう
地面(じべた)を
はやくは走れない
わたしが
からだをゆすつても
きれいな音はでないけど
あの鳴るすずは
わたしのよう
たくさん歌はしらないよ
すずと小鳥と
それからわたし
みんなちがって
みんないい

今年もよろしく!

子供が「おや何だろう?」「どうしてなのかな?」という好奇心を持つことは、とても大切な事だと常々感じています。また、頭で考えることももちろん重要であります。心で様々な思いを感じることが出来る子供に育ててほしいという願いがあります。さらに、子供が様々な森羅万象の不思議な出来事を発見し、驚き・感心する姿を示してくれることはとても嬉しいことです。そんな様々な思いで、今まで「国立てくてく1~3」(NO1~300)を日々書き綴ってきました。

「国立てくてく」は、自然に直接触れることの楽しさや大切さを記すと共に、五感を通しての直接体験の行為が豊かな感性を育てることに通じることをお伝えしたいと考えています。また、子ども達が、風の様子や空気のおいしさや土や草の香り、さらに周りの景色や様子など、自然環境を五体に刻みながら自然の神秘さや奥深さなどをより深く実感し、学んでもらえたら嬉しい限りです。

今年も、花ちゃん、オー君、モンタ博士の3人のキャラクターが登場させ(新メンバーも登場する予定です)会話形式で書き、様々な工夫をしていきます。今年からは、新たに科学発展に寄与した人の「てくてくスーパー偉人伝」や「野菜も植物なので科学しよう。」さらに、「いろいろ草花遊び」など、様々な新しい企画を考案中であり、チャレンジしていきたいと思っております。4年目に入りますが、昨年度までのものは、学校HPに全てありますのでぜひそちらもご覧下さい。

この「国立てくてく」通信を書く事は、私自身にとって最高の研鑽の機会を与えて頂いたものと心より深く感謝しております。本当にありがとうございます。楽しく頑張って書き綴っていきます。(モンタ博士の友人である森田弘文より)